

■（公社）日本地すべり学会関東支部 2025 年度総会・シンポジウム開催報告 （公社）日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

- (1) 開催日
令和 7 年 5 月 8 日（木）
- (2) 開催地
日比谷図書文化館（地下一階）大ホール
（東京都千代田区日比谷公園 1－4）
- (3) 主催
（公社）日本地すべり学会関東支部
- (4) 来賓
（一社）斜面防災対策技術協会
関東支部長 佐藤健一氏
- (5) 参加人数
総会：28 名，委任状 72 名，合計 100 名（定足数 93 名以上）
シンポジウム：現地参加 60 名，オンライン 12 名

2. 内容

- (1) 総会
新井場支部長の挨拶（写真-1）に続いて、来賓の佐藤健一氏によるご祝辞（写真-2）をいただいた後、議事に入った。議長は、事務局から山邊康晴氏（一般財団法人砂防・地すべり技術センター）が推薦され、承認された（写真-3）。定足数・出席者数・表決書数・委任状数が確認され、定足数を満たしたため、総会及び決議が成立することが事務局より説明された。
第 1 号議案では、木村幹事長・西尾副幹事長より、2024 年度の事業報告及び決算報告がなされ、楠本監事による監査報告がされた。審議の結果、賛成多数で、本議案は了承された。
この他、木村幹事長より、①支部役員の退任・選任に関する報告、②2025 年度事業計画・予算に関する報告が行われた。
- (2) シンポジウム
シンポジウムでは、「群馬県の火山と土砂災害」をテーマとして、安井真也氏より「浅間山の噴火史と火山災害」（写真-4）、佐々木実氏より「群馬県の土砂災害対策」（写真-5）、畠山幸男氏より「火山性地盤の地

すべりへの対応 一万座地区地すべりについて」
（写真-6）と題して、それぞれ講演が行われた。講演後、櫻井正明氏（株式会社山地防災研究所）をコーディネータとして総合討論が行われ、ベテランも若手も交えて、活発な意見交換が行われた（写真-7、写真-8）。最後に、木村幹事長による挨拶（写真-9）があり、シンポジウムは閉会となった。

3. おわりに

多くの皆様に総会・シンポジウムの会場へご来場いただき、ありがとうございました。また、今回初めての試みとなったシンポジウムのオンライン配信にも、多数ご参加いただき、重ねて御礼申し上げます。

今回のシンポジウムでは、2026 年地すべり学会群馬大会に向けて、群馬県の火山と土砂災害をテーマに掲げ、専門分野や立場の異なる 3 名の講師にご講演いただきました。警戒区域外で発生する被害をいかに軽減するかという課題に対し、火山学をはじめとする他分野の知見の重要性が議論され、土砂災害の被害軽減には分野横断的な連携が不可欠であることを改めて実感する機会となりました。学会として、年代や専門分野を超えて会員同士が議論できる場を提供することの意義を再認識しました。今後とも支部の活動、運営にあたり、会員の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

（文責：関東支部幹事 経隆悠）



写真-1 総会・新井場支部長挨拶



写真-2 総会・来賓の佐藤健一氏によるご祝辞



写真-6 シンポジウム・畠山幸男氏ご講演



写真-3 総会・開催状況（議長：山邊康晴氏）



写真-7 総合討論（コーディネータ：櫻井正明氏）



写真-4 シンポジウム・安井真也氏ご講演



写真-8 総合討論・会場の様子



写真-5 シンポジウム・佐々木実氏ご講演

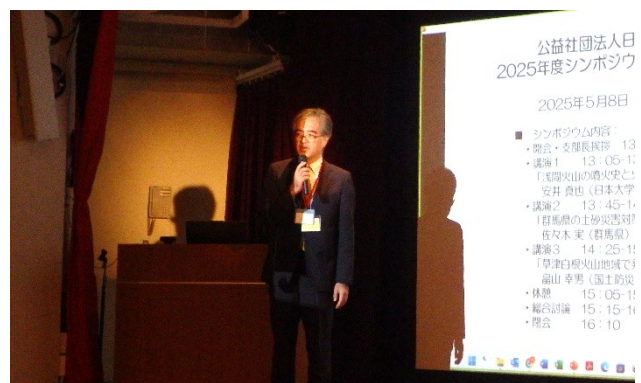


写真-9 シンポジウム・木村幹事長閉会挨拶